



教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507
<http://catholic-kofu.com>
発行 甲府カトリック教会広報委員会

教会の便り

甲府・塩山助任司祭 チャン ウォンヨン 張 璦 鎔

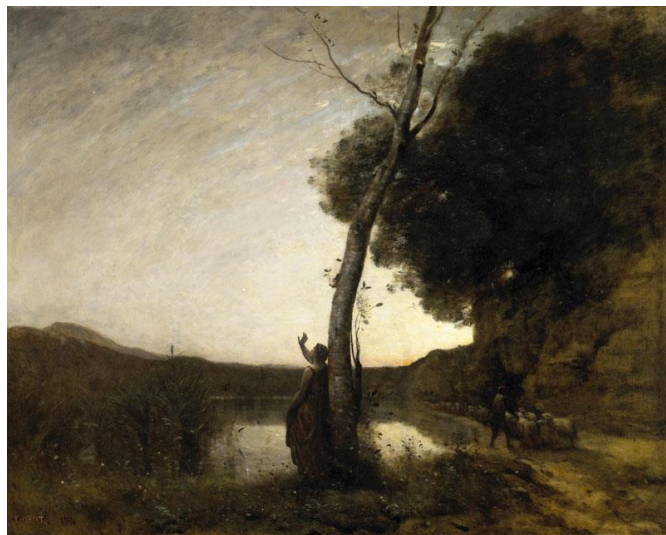
三つの木の話という英米圏の伝来童話を紹介したいと思う。この話は、韓国の小教区の教会学校の子供たちが、度々芝居で公演している素材でもある。内容は大体次のようになる。昔ある丘に三本の木があったが、それぞれの夢は互いに異なっていた。第一の木の夢はこの世界で最も稀である宝石を盛る宝石箱になることだった。第二の木の夢は最も偉大な王さまを乗せる舟になることだった。第三の木の夢は天にまで達するほど大きく伸びて神様に栄光を捧げることだった。

時が過ぎて三本の木は全部切られた。第一の木は、自分が夢見てきたこととは違い、飼いや葉おけに作られて馬や牛の餌を入れる箱になった。二番目の木も大きな船を作るのに使用されず、漁師らが乗る小さな漁船を作る時に使われた。三番目の木も自分が希望したのとは違い、天に届く前に切り捨てられ丸太がなって山の下のみぎの山に投げられることになった。三つの木は自分が夢見てきた通りに遂げられぬことについてとても悲しくなりながら自分たちの境遇を嘆いた。

そして、長い時が過ぎた。ある日若い大工と身ごもった彼の妻が馬小屋に入って来た。彼らは飼いや葉おけを綺麗に掃除した後生まれた赤ちゃんの揺籃でそれを使用した。その時、ようやく一番目の木は自分が最も偉大な宝物、まさにメシアという宝物を盛る箱になったことを悟るようになった。その後30年が過ぎたある日、ある人がガリラヤ湖のほとりで小さい漁船に乗って人たちに真理の言葉を伝え始めた。

30年の間に魚臭に満ちていたこの船は、真理を伝える偉大な王さまの言葉の香りですばいになった。その時、ようやく二番目の木も自分が最も偉大な王さまを乗せる舟になったことを悟るようになった。また、3年経ったある日、まきの山に投げられていた三番目の木は、十字架に組まれてゴルゴダの丘に再び立てられた。三番目の木は使い道のない丸太で捨てられたが、救世主を祀った栄光を受けるようになったのだ。三つの木はそれぞれの苦しみを受けたが最後には自分たちの夢を果たすことになった。

典礼歴に基づいて私たちは四旬節を過ごしている。四旬節で大事なことは十字架と復活だ。これは、順番によって生じた別々の出来事ではなく一つの出来事だった。すなわち、十字架と復活とはコインの表側と裏側といえる。だから、ある神学者は「十字架がない復活は空虚な幻想であり、復活がない十字架は盲目的なことだ」と言ったのだ。しかし、この事実を知ってながら一方で十字架を避けたいのは、わたしたち人間の本性である。それにもかかわらず、神様の恵みは人間の本性を超えて私たちに作用する。そこで、四旬節を過ごしながら、私たちの前に十字架があるとしても、これを避けずに、背負うことができる神様の恵みを体験する期間になることを期待します。



新委員長のつぶやき

芦沢 信

1月から教会委員会委員長の大役を仰せつかりました。信者歴は60年以上と長いのですが、甲府教会での期間は短いので、自己紹介を少しさせていただきます。

信者の母と自称「無神論者」の父との間に産まれましたが、幸いにも幼児洗礼のお恵みを受け子ども時代は教会によく行っていました。当時は土曜日に教会学校があり、子どもが多い時代でもあったので同学年男子が4名もいて、ともに仲良く通っていました。もちろん教会の勉強よりも遊びに熱心な年齢だったのですが、そんなことはお見通しのチェリッザ神父様にとてもかわいがっていただきました。

高校生になると、横浜教区カトリック学生連盟（学連）に参加し、聖書研究と奉仕と遊びに多くの時間を費やしました。母から「教会ばかり行っていないで、少しは受験勉強しなさい！」と小言を言われるくらい入り浸っていました。その甲斐あってかお恵みか、運よく横浜の大学に進学することができました。同時に学連本部（当時の学連指導司祭は田代和生神父様）で役員となり、大学の勉強よりも学連活動に熱心だったように記憶しています。その甲斐あってかお恵みか、第1志望の会社に就職することができました。

社会人生活の中で結婚と、3人の子どもに恵まれました。転勤族のため九州から北海道まで数回の引越しを経験しましたが、行く先々で教会にお世話になり、子どもたちは転校生にありがちなじめやひきこもりには無縁で健やかに育ちました。

私が50代半ばの時、母が認知症となり一人暮らしが困難になったため、会社を早期退職して妻と共に甲府に戻り同居を始めました。まだリタイアする年齢ではなかったため、母の介護をしつつ通信教育で社会福祉士の資格取得の勉強を始めました。その甲斐あってかお恵みか国家試験に合格し、たまたま炊出しのボランティアをしていたやまなしライフサポートの職員としてホームレスや貧しい人々のために働くことになりました。

そして、今回委員長職を任せられたわけですが、最近よく想起するのがあの有名な『タラントンの（タレント）のたとえ』（マタイ25：14～30）です。そしてそのたとえで特に気になっているのが「それぞれの力に応じて」タラントンを預けたという箇所です。やまなしライフサポートでの事務局長という仕事は人の命にも関わることもありそれだけでも十分重いのですが、教会委員長という職責はそれ以上に重く感じています。これが私に預けられたタラントンだとすると、神様は私の力を買いかぶっているのでは？と思わずにはられません。しかし、神様が間違えることはないで、「あなたの力をしっかりと使いなさい、そして預けた以上のものにして私に返しなさい。」とされているのだろうと思うようにしています。

キョードーセンキョーシボクが大きなテーマになっています。信徒は神父様の言う通りに動いていればよい、という旧い考えから脱却して信徒の役割を積極的に果たしていきましようということなのです。言葉では分かったつもりでも、具体的な行動に移すととなると様々な障害や困難や戸惑いがあることでしょう。カタカナではなく本物の「共同宣教司牧」の姿を目指して外国籍を含む信徒のみなさん、修道者の方々とともに進みたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

お知らせ(3月)

1. 司祭の異動

当教会の助任司祭として、私たちの司牧にあたられました張瑗鎔神父様が4月2日付で蕪崎教会 主任司祭としてご異動されることになりました。

約1年間、当共同体のためにごミサを捧げ、信徒ひとり一人をやさしくお導き下さったことに感謝するとともに新任地のお仕事に神さまの豊かな祝福とご健康をお祈り申し上げます。

(なお、張神父様の送別会は4月1日のご復活祭のミサの後に行います)

2. 四旬節・聖週間及びご復活祭

2月14日(水) (灰の水曜日) より、四旬節に入りました。

フランシスコ教皇様の四旬節メッセージ「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷える」(マタイ24・12) が聖堂においてあります。

お持ち帰りの上、お読み頂き、教皇様のご意向に従い祈りと行動により節制により良い復活祭をすべての人々が迎えるよう準備をいたしましょう。

具体的にお知らせしたいことは次の通りです。

①四旬節献金について

灰の水曜日(2月14日) からご復活祭の前日(3月31日) まで四旬節献金を募ります。

献金は、指定のカリタスジャパン「四旬節 愛の献金」の緑の封筒(聖堂入口)に入れて、聖堂東口の「月定献金(維持費)」の箱に主日のミサの時にお入れ下さるようお願い致します。

(※カリタスジャパン「四旬節2018」のリフレットを聖堂入口にあります。)

②四旬節 静修日

日時 3月10日(土) 10時～

場所 聖堂

内容 講話とゆるしの秘跡

指導司祭 張神父様

(詳細は、別ページをご覧ください)

③聖週間・復活祭

典礼歴	日 時	開始時間	場 所
受難(枝)の主日	3月25日	10時30分	聖堂
聖木曜日	3月29日	19時00分	聖堂
聖金曜日	3月30日	19時00分	聖堂
聖土曜日 (復活徹夜祭)	3月31日	19時00分	サンタルチア講堂
復活の主日	4月01日	10時30分	サンタルチア講堂

※1. 聖週間・復活祭の典礼の詳細につきましては、別ページの典礼委員会の「聖週間・復活祭の典礼」をご覧ください。

2. ご復活の卵づくりは、3月31日(土) 9時より行います。(担当:女性会)

3. 聖土曜日・復活の主日のミサ会場の準備(担当:教会施設管理委員会)

3月31日(土)10時より行います。ご協力頂ける方は、センター掲示板の名簿に3月25日までにお名前をご記入下さるようお願い致します。

なお、サンタルチア講堂における4月1日の復活の主日のミサに引き続き張神父様の送別会と祝賀パーティーを行いますので、参加者皆様の会場設営へのご協力をお願い致します。

4. 駐車場

3月31日(土)の復活徹夜祭及び4月1日(日)の復活の主日の駐車場は、次の場所を予定しております。満車になった場合は、近隣有料駐車場の利用等各人で手配をお願い致します。

・教会庭、西側有料駐車場、遊戯会館、税理士会館、

5. 張神父様の送別会及び祝賀パーティの準備等

※信徒の皆様には、典礼・行事等についてそれぞれの担当責任者よりご協力のお願いを
すると思っておりますがどうぞよろしくお願い致します。

3. 帰天

ペルーグループ(北杜市高根町) 宮平ロサ様(76歳)におかれましては、ご病氣療養中でしたが、2月18日 ご逝去されました。2月21日 甲府教会で葬儀ミサが行われました。

故人の永遠の安息と悲しみにくれるご親族の皆さまにいつくしみ深い神様の慰めと平安をお祈り致します。

なお、ご遺骨は12月に故国ペールで埋葬される予定です。

4. 2018年信徒大会

2月11日(日)主日のミサ後、聖堂で共同体運営規約第30条に基づく、信徒大会が白木主任神父様、張神父様はじめ信徒46名の方が参加され、共同体の運営について話し合いが行われました。

信徒の皆様から頂いたご質問及びご意見につきましては、3月11日開催の教会委員会で審議し、その結果は4月号教会だよりで皆さまにお知らせいたします。

5. 今月の早朝ミサ

3月の早朝ミサ(6時50分)は通常通り、毎週 火曜日、金曜日、土曜日に捧げられます。

但し、3月2日(金)は、早朝ミサはお休みし、初金のミサが9時30分より捧げられその後、センターホールで「聖書を読む会」を行います。

【3月の早朝ミサはお休み：3月2日(金)、3月27日(火)、3月30日(金)、3月31日(土)】

6. フィリピングループの黙想会と勉強会

3月24日(土)9時から17時までサンタルチア講堂で四旬節の黙想会と勉強会を行います。

7. キリスト教入門講座の補講

白木神父様のキリスト教入門講座補講の3月の開催予定は、次の通りです。

講座は、14時よりセンターホールで行います。

キリスト教について勉強したい方は、どなたでも参加できますのでお問い合わせの上ご参加ください。

(開講予定日) 3月11日(日)、3月18日(日)を予定しております。

8. 教会委員会

3月11日(日)ミサ後、サンタ・ルチア講堂で開催します。

委員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

9. 典礼委員会

3月17日(土)13時から、センター1Fホールで開催します。

10. 3月の教会学校・中高生会及び初聖体クラス

3月の教会学校・中高生会は、3月18日(日)と3月25日(日)にセンター2F事務所で行います。また初聖体クラスは、3月11日(日)と3月25日(日)に行います。

11. 青少年育成委員会

3月20日（火）10時からセンターホールで行います。

12. 女性会

3月はお休みします。

13. きずな

3月21日（水）10時から、センターホールで行います。

14. ピーターラビット

3月20日（火）13時30分よりセンターホールで行います。

詳細は、センター掲示板をご覧ください。

15. 「いのちへのまなざし」（日本カトリック司教団）の読書会（勉強会）

「21世紀の司教団メッセージ」として発行された「いのちへのまなざし」の読書会（勉強会）を3月13日（火）16時よりセンターホールで行います。

なお、当読書会は3月以降、毎月第2火曜日16時に行うことといたしました。

（問い合わせ先：南ブロック 田村照夫さん）

16. 世界祈禱日

3月2日（金）10時30分より、日本福音ルーテル甲府教会で開催されます。

17. 東北被災地支援 講演会(企画：こびっとプロジェクト)

3月3日（土）13時30分から、サンタルチア講堂で講演会を行います。

お知り合いの方などをお誘いの上、ご参加いただき、今なお、困難な生活を余儀なくされている被災者へのお祈りと支援をお願い致します。（詳細:チラシ参照）

講師 佐藤彰牧師（福島第一聖書バプテスト教会）

（当日の駐車場は、教会庭、遊戯会館、西側有料駐車場の一部が利用できますので係りの指示に従いご利用くださるようお願いいたします。）

18. サンパウロの書籍移動販売

3月4日(日)にサンパウロ会のブラザーが移動書籍販売にいらっしゃいます。

ミサ後、講堂にて書籍、聖像、メダイ、ロザリオ等の販売を行いますのでどうぞ、ご利用下さい。

19. 書き損じはがき等のご寄付 ありがとうございます！

今年は、皆様のご協力で150枚 ご寄付頂きました。

ご寄付頂きました書き損じのはがきなどは忍野ユネスコ協会に送り、カンボジアの学校設立資金に役立てます。

なお、年末年始以外にも、未使用切手・テレホンカードおよび商品券は受け付けておりますので、ご協力頂ければうれしいです。

(峡南ブロック：大井ゆかり)

20. 関係団体などからのお知らせ

(1)NPO法人こどもサポートやまなし

① 学習会

3月11日(日)、3月25日(日) 13時30分～16時00分まで

山梨カトリック福祉センターで行います。

② ともだちひろば

3月17日(土) 13時30分～16時00分から

山梨カトリック福祉センターで行います。

(お手伝い頂けるボランティアを募集しております。)

③ 運営委員会

3月20日(火) 18時30分から甲府カトリック教会で行います

(問合せ先 事務局 木村 090-8031-9608)

④ 事例検討会

3月22日(木) 18時30分より甲府教会センターホールで行います。

(2)山梨ダルクを支援する会

運営委員会を3月2日(金) 18時30分から日本基督教団甲府中央教会で

おこないます。

(以上)

典礼の息吹

聖週間と聖なる過越の三日間

四旬節第6主日「受難の主日」から、聖週間に入ります。教会は、キリストが救いのわざを成し遂げるために、エルサレムにお入りになったことを思い起こすため、ミサのはじめに枝を持って行列を行います。そのため、「枝の主日」とも呼ばれます。あくまでも大切なことは、イエスさまがエルサレム入城をなさったことであって、枝は二次的なものであることを、忘れてはいけません。

「受難の主日」に続く月曜日から水曜日までを、受難の月曜日・受難の火曜日・受難の水曜日と呼びます。特別な典礼は行われませんが、ミサの聖書を通して、「聖なる過越の三日間」への準備となるよう、配慮されています。

聖香油のミサ

キリストによって新約の「祭司職」が制定されたことを記念するため、慣習によって、聖木曜日の午前中に行われるミサ。香油の聖別があります。

ミサの中で、司教・司祭は、叙階の約束の更新を行います。

聖なる過越の三日間

この聖なる三日間の典礼は、一年の典礼暦年の頂点と言えます。

聖木曜日「主の晩さんの夕べのミサ」

キリストが、聖体・ミサ聖祭・司祭職を制定した、最後の晩餐の記念を行います。

洗足式・聖体安置式（聖体礼拝）

聖金曜日「主の受難」 キリストの御受難・御死去の記念日

第1部 ことばの典礼 第2部 十字架の礼拝 第3部 交わりの儀
この日は、唯一ミサ典礼が行われない日です。

聖土曜日「復活の聖なる徹夜祭」

第1部 光の祭儀 第2部 ことばの典礼
第3部（入信式がある場合）洗礼と堅信 （ない場合）洗礼の更新

第4部 感謝の典礼

この日は、古来の伝統に基づき、神のために守る徹夜の日（出12：42）として復活徹夜祭を行い、主の過越を盛大に祝います。そして、「復活の主日」を迎えるのです。

こんにちは、こぴっとプロジェクトです

(山梨地区東北被災地支援プロジェクト)

○ボランティア行ってきます(3月)

- ・担 当 : 甲府/塩山
- ・日 程 : 3月5日(月)~8日(木)
- ・参加者 : 宮澤 由美 長野 翠(甲府)
- ・訪問地 : カリタス石巻ベース

○『2018東北被災地支援 講演会「福島から、今思う」』の開催について

- ・日 時 : 2018年3月3日(土) 12:30~16:00
開場12:30 開演13:30

- ・会 場 : カトリック甲府教会 サントルチア講堂
- ・講 師 : 佐藤彰 牧師(福島第一聖書バプテスト教会)

皆さんの参加をお待ちしています。また、友人知人(一般の方々にも)へのお声かけもお願いします。

○2018年東日本大震災被災地支援ツアーの開催について

- ・日 程 : 2018年5月11日(金)~13日(日)
- ・訪問地 : 宮城県 石巻ベース、他
福島県 南相馬ベース、他
- ・集 合 : 東京駅
- ・参加費 : 20,000円(今回は補助金が出ます)+
自宅から東京駅までの交通費+
昼食代(3日分)+夕食代(1日目、6,000円ぐらい)

2017年の参加費は、約48,000円+自宅から東京駅までの交通費+

昼食代(3日分)+夕食代(1日目、6,000円ぐらい)

十字架の血

耐え難い孤独の世界で

人知れず 悲しみの痛さと

向き合っているのか

もう一度 十字架の原点に立ち返る

血みどろの生き方を 思い起こそう



復活の灯

人は

苦痛の中から這い上がり

孤独のうえに

神を見るだろう

✠ 今月の典礼奉仕表（3月） ✠

日	第一朗読	第二朗読	共同祈願奉仕	聖堂案内
3月 4日	デラクルスエイシャ (教会学校)	風間はるか (教会学校)	今井(勇)	武井
11日	芦沢	御荘	大井	芦沢(マ)
18日	池田	今津	宮田	御荘
25日	志村	今井	原田	大井
4月 1日	今井(勇)	久保田ひでき (教会学校)	高原	武井

✠ 今月のこよみ（教会暦、行事等） ✠

- ・主日のミサ 日曜日10:30～、土曜日18:00～イエスのカリタス甲府修道院（ヨゼフ寮）
- ・平日のミサ 火・金・土曜日06:50～（但し初金のミサ 9:30～）

3月	4日（日）四旬節第3主日	10:30 ～ ミサ	15:00 ～ スペイン語ミサ（Español）
	11日（日）四旬節第4主日	10:30 ～ ミサ(教会委員会)	15:00 ～ ポルトガル語ミサ（Português）
	18日（日）四旬節第5主日	10:30 ～ ミサ	12:30 ～ 韓国語ミサ（한글）
	25日（日）受難の主日（枝の主日）	10:30 ～ ミサ	15:00 ～ 英語ミサ（English）
4月	1日（日）復活の主日	10:30 ～ ミサ（張神父様送別会）	15:00 ～ スペイン語ミサ（Español）

※ 3月2日（金）、3月27日（火）、3月30日（金）、3月31日（土）の早朝ミサはお休みとなります。

清掃当番表（3月～4月 各ブロック輪番制）			
3月 4日（日）	ペルーグループ	3月 11日（日）	ブラジルグループ
3月 17日（土）	中央・北ブロック	3月 18日（日）	韓国グループ
3月 25日（日）	フィリピングループ	3月 31日（土）	西・峡西ブロック
4月 8日（日）	ペルーグループ	4月 14日（土）	山城・峡南ブロック